

静岡北特別支援学校 人権教育全体計画

関係法令等

- ・児童の権利条約
- ・障害者権利条約
- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・人権教育及び人権啓発に関する基本計画
- ・障害者基本法
- ・障害者総合支援法
- ・児童虐待防止法
- ・障害者虐待防止法
- ・障害者差別解消法
- ・ふじのくに
人権文化推進プラン
- ・「有徳の人」づくり
アクションプラン

目指す子ども像

目的や目標を持ち、最後まで夢中で取り組む姿【夢中】
「できた」達成感の姿【笑顔】
思いやりを持ち、自分の世界を広げる姿
【共生社会を生きる】

教育目標

「夢中」と「笑顔」で 共生社会を生きるひと

具現化の柱

【専門性】主体的な学びで、自立と社会参加に必要な力をつけることのできる学校

【安全・安心】安全で安心な生活ができる学校

【連携】家庭や地域、関係機関と共に歩む学校

児童生徒の実態

- ・身体を動かすことが好きで、友達とよく遊ぶ。
- ・相手の気持ちを想像することは苦手で、自分本意な行動が見られることがある。

保護者の願い

- ・児童生徒の社会参加に向けた心身の成長と自立。

本校の人権教育の目標

校長の方針の下、人権教育委員会を中心とし、全ての教育活動で人権教育を推進する。

- ・人権に対する正しい理解を深める
- ・教職員・児童生徒の人権感覚を高める
- ・自己肯定感を高めること
- ・多様性を尊重すること

学部目標 小学部	学部目標 中学部	学部目標 高等部
みんなと元気に自分から取り組む児童 【夢中】体を動かして元気に活動する児童 【笑顔】身の回りのことが自分のできる児童 【共生】人やものに興味を持ち、みんなと仲良く関わる児童	自ら考え、仲間と共に進んで活動する生徒 【夢中】目的や目標を持ち、学習活動に最後までせいっぱい取り組む生徒 【笑顔】自ら気づいて行動する生徒 【共生】仲間と協力して集団生活ができる生徒	自ら挑戦し、可能性を広げ、仲間と共に地域で活躍する生徒 【夢中】目標を持ち、自ら活動に取り組む生徒 【笑顔】日々の生活や働くことに喜びを持つ生徒 【共生】自他を大切にする心を育み、身に付けたことを発揮できる生徒

生徒指導・教育相談等

○各教科・指導場面における指導の重点

- ・子どもたちの主体的な学びを実現するために、発達段階に即した単元や指導場面の選択、指導内容や方法を工夫する。
- ・自主性を尊重した児童会・生徒会活動を充実させる。
- ・自分や友達の良いところを見つける学習を行い、自尊感情を高め、他者を認める気持ちを育む。
- ・スクールカウンセラーによる相談事業の実施。

○教職員全体の人権感覚の向上に向けた取組

- ・児童生徒の呼称は「さん」付けを徹底する。
- ・朝の打ち合わせ等で教職員心得を唱和し、人権意識を高める。
- ・人権教育の理解・啓発(人権研修)の推進。
- ・教職員への人権感覚に関するチェックの実施(5月、12月)と学年での事後ワーク(7月、12月)の実施。
- ・各種研修会の紹介、職員会議等での報告。
- ・掲示板を活用して啓発する。

家庭・地域・関係機関等との連携

教職員の人権感覚の向上